

教育研修部ニュースレター

第7号 平成29年11月21日発行

今後のスケジュール

11月16日～30日 登録確認期間

12月1日～14日 採用期間

12月15日 採否一斉配信

12月16日～1月15日 2次募集期間

1月16日～31日 登録確認期間

2月1日～14日 採用期間

2月15日 採否一斉配信

以降は空のあるプログラムに自由応募

教育研修部 鈴木宏昌 宮崎弘志

・新専門医制度一次登録が終了！

11月15日一次登録が終了しました。全3063プログラム(定員19093人)に登録者は7989人でした。この学年の国家試験合格者が8630人ですので、92%が登録したことになります。

・都市部への偏在問題はどうか

日本専門医機構は11月17日の記者会見で山下副理事長が「都市部への専攻医の集中はほとんどない」と言っていますが本当で

でしょうか。内科プログラムについて調査しました。(次ページ表を参照してください)

内科は542プログラム/定員5571人をもつ、新専門医制度最大の領域です。今回2554人が登録しました(登録者の32% 内科定員に対し46%)。プログラム数・定員とも最大なのは東京都です。登録者/定員は527人/879人で60%の登録率です。特に東京の大学附属病院13プログラムでは376人/525人と72%の登録率となっています。専門医機構が定員制限した他の4府県の登録者/定員(登録率)は、神奈川170人/333人(51%)、愛知130人/293人(44%)、大阪208人/440人(47%)、福岡135人/283人(48%)と東京に比し登録者、登録率とも低くなっています。

また、H26年厚生労働省医師・歯科医師・薬剤師調査(1回/2年の全国調査、実務を行っている医師の全員調査)における専攻医同等学年の医師の人数(ほぼ実績値)は、東京都は443人/学年であり、既にこの人数を大きく超えています。上記4府県ではこの実績値を下回っています。

これらから考えると、内科領域では都市部ではなく、東京、それも大学病院に専攻医が集中しています。

他県においても大学集中傾向があります(大学プログラムへの登録は県全体より、5-10%高い県が多い)。逆に大阪や愛知等、大学の採用を減らし、意図的に関連施設に専攻医を送っている県もあります。この両者とも大学の意志が働いており、今回の結果は大学医局の復権を思わせる状況です。

内科以外の18診療科については、まだ詳細な情報は公開されていません。唯一、専門医機構が力を入れている総合診療領域で371プログラムに158人が登録している事が報告されています。「医者の3割は総合診療になるべきだ」(聖路加病院福井院長)といわれていた診療科ですが、初回登録者は登録者の2%以下となりました。鳴り物入りで誕生した領域でしたが、様々な混乱があり、散々な出足となっています(総合診療にかかわる先生方は「まあこんなものでしょう、認知されただけでもありがたい」と言っています)。

総合診療に関しては、もともと他科(内科専門領域や外科等)から転身する方が多くいました。国立病院機構でも他科専門医を総合診療医に育成するプログラムを作る予定でいます。

・**当院の状況**：当院の基幹プログラム登録者(登録者/定員)は内科(5/5)、外科(1/2)、脳神経外科(1/2)、総合診療科(0/1)となっています。今後、連携プログラムの採用者を合わせ、対応を検討します。

・2次登録(12月から開始)

一次登録で採用された方は、当然ですが2次登録には参加できません。キャンセルは想定されていません。空プログラムをみて、他病院に変えようと考えている先生は・・・どうでしょうか。

2次募集は一次募集でプログラム定員を超えた75名と、今回システムに登録したが一次募集に応募しなかった110名、未登録の+aが参加する予定です。たぶん2百人程度の規模になると考えます。

表：内科プログラムの一次募集の結果(定員に対する全体の応募率 46%)

(過去実績は平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 医籍登録後2～5年目未満の医師数の1/3)

県 (過去実績)	P G	定員	応募者数	
北海道 (88)	19	245	82(33%)	大学以外は10人のみ、応募0 P G 1 1あり
宮城 (47)	11	121	48(40%)	仙台医療 7/10 東北大 24/55(44%) 0 P G 2あり
埼玉 (77)	20	185	67(36%)	実績より少ないのは東京からの派遣か 0 P G 4あり
東京 (443)	65	879	527(60%)	大学以外の応募率は43% 応募0 P G 9あり
うち大学本院	13	525	376(72%)	最高応募率、上記大学以外より30%近く高い
神奈川 (177)	37	333	170(51%)	相模原 3/5、大学以外の応募率47% 0 P G 5あり
うち大学本院	5	145	81(56%)	大学の方が応募率9%高い
愛知 (165)	34	293	130(44%)	名古屋医療 8/12、0 P G 2と少ない
うち大学本院	3	46	15(33%)	大学定員・応募率低い、各大学による調整済みか
京都 (75)	15	151	81(54%)	京都医療 5/6 宇多野 0/3 応募0 P G 2あり
うち大学本院	2	64	39(61%)	府立医大は 25/25
大阪 (226)	47	440	208(47%)	大阪医療 10/15 大阪南 4/8 応募0 P G 1 0あり
うち大学本院	5	127	77(61%)	阪大は 1/16 採用しない方策か
岡山 (51)	13	130	62(48%)	岡山医療 8/10 岡大 4/20 倉中央 13/24 0 P G 1のみ
福岡 (161)	21	283	135(48%)	九州医療 1/8 福岡東 6/8 応募0 P G 3あり
うち大学本院	4	176	103(59%)	九大 43/60 久留米 23/40 福大 19/30 産業医大 18/46

・定員は制限されるか

現在登録確認期間中です。各学会や県、市町村による調整期間となっています。各学会は定員調整をしないと公言している学会が多く(内科学会等)、調整が入るなら専門医機構が行う事となります。現時点では行われるか不明です。(少なくとも神奈川県は行われる可能性は無いように思います)

・現在の専門医機構に定員調整能力はあるか

「機構のガバナンスが問題」として、再出発した新専門医制度ですが、現在の機構はさらに状況が悪化しているように思えます。吉村理事長は病気療養中で3回連続理事会を欠席していますし、理事会概要を公開する「理事会だより」も6月以降更新されていません。現在の専門医機構に定員調整するような能力はありません。「調整できない」が本音だと考えます。副理事長の「都市部への集中は無い」はこの伏線でしょうか。

編集後記： 専門医制度は各領域学会だけでなく、サブスペ学会や各種病院団体、地方自治体代表や政治家等多くの利害関係者が関わり当初の理念とは大きく形を変えています。でも動き始めました。よい制度には先生方の努力、協力が必須です。頑張りましょう！（1年次の先生方、来年の一次募集は5月予定です！！）